

2018年9月号
(通算117号)

☎553-0003
大阪市福島区福島3丁目1-73
コミュニティープラザ大阪内
Tel. (06)6451-8100
Fax. (06)6136-8126



全国の先輩の市町村に
「こんにちは」
さおりですと訪問活動中
「吉川さおり」



摂河泉 OB

安心・信頼、生きがいあふれる21世紀、みんなと共に！

NTT労働組合退職者の会・大阪支部協議会
発行責任者 中井 秀禮 編集責任者 池尻 貞男

NTT労働組合 退職者の会 大阪支部協議会

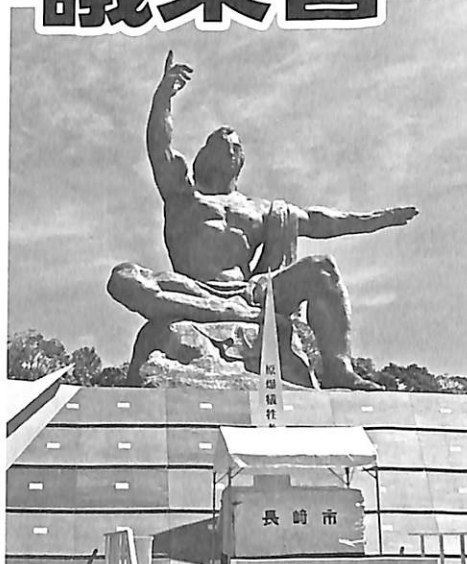
第21回定期総会 議案書



沖縄ピースすてーじ



広島ピースフォーラム



長崎平和フォーラム

告 示

NTT労働組合 退職者の会 大阪支部協議会 会則
第7条に基づき第21回定期総会を下記の通り開
催します。

記

- 1.開催日時 2018年10月5日(金)
午後1時30分開会(午後1時開場)
- 2.場 所 大阪リバーサイドホテル
大阪市都島区中野町5-12-30
JR桜ノ宮駅下車(西出口3分)
06-6928-3251
- 3.構 成 ①各ブロック代議員
(組織会員数50名に1名)
②大阪支部協議会 役員
- 4.議 事 ①1年間の活動を振り返って
②2017年度会計決算報告
③2017年度会計決算監査報告
④2018年度活動方針(案)
⑤2018年度予算(案)
⑥役員の承認
⑦各種表彰
⑧その他

2018年9月1日
NTT労働組合退職者の会 大阪支部協議会
会長 中井 秀禮



第3回 摂河泉・クラブ 命の水大阪 (大阪市柴島浄水場)



NTT労働組合 退職者の会 大阪支部協議会

第21回定期総会に向けて



- 1、2018年6月18日「大阪北部地震＝北摂地域」追い打ちを受け、同7月5日「西日本豪雨」の影響により甚大な被害を受けられた地域の皆様には心からのお見舞いを申し上げますとともに、これ等状況(大規模な自然災害)を踏まえ、「復興・再生」と「防災・減災」に向けた取り組みをより一層強化・充実しなければなりません。

特に今回の天災地変に対する思いとして、我々人間社会に対して、自然界は人間の「予測・予知・憶測等全く意に介さないこと」備えの万全は至難の『業』である事を～何度も其の自然界から突然の攻撃を受け、成す術も無く弱点をさらけ出した、我々人間社会側の「防災体制」だったのでは…なかったか？

日く!!『急迫時』は自らの身は自らが守る事の貴重な「警鐘」と「教訓」と受け止め、災害は忘れた頃にやって来るのではなく、必ず来ることを想定して置かなければならない事を肝に命じ!!<有備無患>

- 2、新年度の方針等について、基本的には前年度の「方針」を踏襲する事を前提に作成しました。次の3点について強調事項として記載しておきます。

(1) 組織強化の視点から、各ブロックが実施している「ブロック委員会」を諸々の観点から『拡大ブロック委員会』を開催し、よりブロック委員会の充実強化をはかることを目的に開催を計画します。

(2) 『四ブロック・合同懇親会』について、大阪支部協議会節目の式典行事として計画し、実施は2019年2月20日、其の開催成功に向け「四ブロック合同懇親会」PT会議の更なる充実強化を図る事とします。

(3) 昨年までのいきいき講座から公募により、「摂河泉・クラブ」と名称も新たに一步踏み出した事を受け、文字通り、大阪支部協議会その『もの』である事を意識し、広く会員が出席・参加できる事を考え「諸々のジャンル」を対象に取り組んで行く事とします。

3、政治闘争について

(1) 第25回参議院議員選挙・第19回統一地方選挙については、「勤労者」「生活者」「納税者」の視点に立った政策の実現に向け、『現・退一致』で取り組みます。

①参議院議員、組織内候補者「吉川さおり」(比例代表)

②自治体議員、組織内候補者「西岡友和」(大阪府吹田市議会議員)

4、「平成30年7月豪雨及び大阪北部地震・

退職者の会会員の皆様へ

「平成30年7月豪雨及び大阪北部地震・被災者支援カンパ」のお願い

【趣意書】

日頃から、退職者の会活動にご理解・ご協力を頂き感謝申し上げます。

7月6日未明より、西日本各地を襲った豪雨によって、河川の氾濫、土砂災害などにより各地で甚大な被害が報告されています。

7月20日現在の死者218名、安否不明者12人、避難者4,000人以上となっており、退職者の会会員、組合員、社員そのご家族や家屋の被災報告等を受けています。

また、6月18日大阪府北部を震源と最大震度6弱の大規模地震が発生し、4名の死者と多くの建物の損壊が報告されています。

退職者の会中央協議会は、これら災害によりお亡くなりになられた方々に心よりのお見舞い申し上げます

今回、被災された退職者の会会員、組合員、社員の方々への支援、及び被災地の日も早い復旧・復興の一助となるべく、情報労連、NTT労働組合とともに「平成30年7月豪雨・大阪北部地震・被災者支援カンパ」を実施します。

ぜひ、会員の方々のご理解・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

2018年8月

NTT労働組合退職者の会
中央協議会 会長 石原 喜久

NTT労働組合退職者の会
大阪支部協議会 会長 中井 秀禮

○カンパ内容：目標額を設定しない任意カンパ

○カンパ実施期間：一次集約 2018年9月21日まで

○カンパ集約先：NTT労働組合退職者の会 大阪支部協議会

郵便振り込み用紙(手数料不要)を同封していますのでご利用ください。

※集約されたカンパ金については、被災された退職者の会会員・家族及び組合員等への支援を始め、情報労連が実施する被災者支援カンパに提出します。

被災者カンパ]のお願いについては、前1項の具体的取り組みについてであります。今回、被災された「会員」の皆さまへの支援・及び被災地の一日も早い復旧・復興の一助となるカンパ活動を実施しますので、是非会員の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

最後に全会員の皆さまのご意見等々で「新年度」方針が出来ますようお願いいたします。

以 上

NTT労組退職者の会 大阪支部協議会 会長 中井 秀禮

一年間の活動を振り返って

【重点的取り組み】

1. 危機管理マニュアル(手引)作成について

- (1) NTT労働組合退職者の会 中央協議会により、作成された「危機管理マニュアル」に基づき、『現・退一致』の取り組みと捉え、大阪グループ連絡会と密接に連携し、一方支部協議会としては、2016年度で安否確認活動「お元気ですかコール」を実施しましたが、確認できなかった会員に対して、更に「2018年もお元気ですかコール」を実施しました。
- (2) 6月18日発生した大阪北部地震に対しては、地震当日4ブロック委員会3役が中心となり、それぞれの各ブロック委員へ、緊急連絡網を通じて、罹災状況を確認しました。

2. いきいき講座については、PTを立ち上げ、名称の公募を行ない、新講座名を「摂河泉・クラブ」と名称を改め、課外研修を中心に年4回実施しました。

3. 四ブロック合同懇親会については、PTを立ち上げ、20年目の節目として大阪支部協議会発足20周年を記念し、2019年2月にANAクラウンプラザ大阪ホテルで開催いたします。

4. 大阪北部地震および平成30年7月豪雨により、多数の死者と多くの建物の損壊が報告されています。大阪支部協議会も中央協議会の指導のもと「平成30年7月豪雨および大阪北部地震・被災者支援カンパ」の取り組みを行います。

【具体的取り組み】

1. 事務局の運営について

- (1) 事務局の運営体制については、日程管理、行動計画の意識合わせ、担当業務の明確化等、業務の効率化を図り運営しました。
6人体制については、今年度は5人体制で推移しました。週休3日制については、概ね堅持できました。
- (2) 幹事会に向けて、原則、月1回の事務局会議並びに拡大事務局会議を開催し、情報共有に努めました。
- (3) 事務局開設日は、朝会(朝のミーティング)を実施し、日々の情報共有に努めました。

2. 会員拡大の取り組み

- (1) 大阪グループ連絡会が主催する「退職予定者説明会」に大阪支部協議会として参加し、「退職者の会」の活動内容等をアピールし、説明員としての役割を果たしたと判断します。
- (2) 恒例の「新規会員懇親会」を8月17日に実施しました。

- (3) 女子会をあらためて、女性の会(幹事会で承認された)として、退職予定者説明会への参加、政治学習会への参加を呼びかけ、新規会員懇親会への出席依頼、グル連女性連絡社会見学会への参加、女性の会懇談会の開催等を実施しました。

3. 退職者共済の取り組み

- (1) 電通共済生協近畿ブロック推進部に依頼し、加入促進のポイントについて、幹事会及びブロック委員会で説明会を開催し、理解を深める取り組みを行いました。
- (2) 大阪北部地震、西日本を中心とした豪雨の罹災受付および、会員からの共済関係の問合せ等に対し、事務局全員が受付を行い、円滑な処理に努めました。

4. 会員とのコミュニケーションの充実

- (1) 会員との重要なコミュニケーションツールとして会報「摂河泉OB」を奇数月1・3・5・7・9月に発行しました。
- (2) 編集委員会は、掲載する記事の取集、編集等「手に取って読まれる会報」を目指して、紙面内容の充実を図りました。
- なお、昨年に引き続き、特別編集委員を配置し充実を図ってきました。
- (3) ホームページについては、迅速な編集と更新に努めてきました。また、各ブロック、各サークルへのブログ作成の勉強会を開催し支援しました。

5. イベントの取り組み

- (1) 泊旅行については、参加者48名で雨の中、芦原温泉一泊旅行を実施しましたが、参加者の減少等の課題もあり、次年度への検討事項とします。
- (2) ウォークラリーについては、ウォークラリー月間で投稿された感想記は文集にして配布しました。期間中のハイキングは5月21日當麻寺で実施しました。参加者は70名でした。また、参加者の感想を参考に、次年度への取り組みとします。
- (3) 支部協議会主催第14回グラウンドゴルフ大会は昨年度の反省をふまえて3月15日実施しました。昨年同様に支部協議会主催の大会と位置づけ「幹事会」及び「グラウンドゴルフサークル」等が一丸となって取り組みました。
- (4) 河内ブロック主催の花見大会を4月5日「服部緑地公園」で75名の参加で行いました。泉州ブロック主催の観劇を6月18日「なんばグランド花月」で80名の参加予定でしたが、大阪北部地震の影響で35名の参加となりましたが実施しました。

6. 文化活動の取り組み

- (1) サークル活動については、会報「摂河泉OB」にサークル活動を紹介し、各サークルのホームページに濃淡があることから、支部協議会主催の勉強会を実施し、各サークルのホームページ更新の支援を行いました。

7. 福祉活動の取り組み

- (1) 愛のキャンパは、435名の会員より68.7万円の寄贈があり「全電通近畿社会福祉事業団」8月3日に寄贈しました。
- (2) 「愛の家」のボランティア活動については、グランド整備(15名)・運動会(中止)・餅つき(15名)・「あいハート須磨」夏祭り(10名)のボランティア活動に参加しました。また、プルタブ、牛乳パック、使用済み切手、ペットボトルキャップ、使用済みカード等の物資取集についても多くの会員から

寄せられており、愛の家等へ寄贈しました。

8. 平和活動の取り組み

- (1) 情報労連の一連の平和四行動では、沖縄(1名)広島(5名)長崎(3名)のオブ参加を行いました。
また、大阪支部協議会独自の新たな平和行動として、第2次大戦時の要塞戦跡等探索隊を加太・友が島方面に19名を派遣しました。
- (2) 今年度は、千羽鶴を沖縄ピースすてーじ、広島ピースフォーラム、長崎平和フォーラムへ持参しました。

9. 政治活動の取り組み

- (1) 情報労連、大阪グループ連絡会、大阪退職者連合からの要請には積極的に取り組みました。
- (2) 「アピール21」については、ブロック委員を中心に取り組みました。
- (3) 政治学習会は、「辻元清美」衆議院議員を迎え、全ブロック委員と会員、合わせて111名で「昨今の政治情勢」について学習しました。

10. 共闘活動の取り組み

- (1) 大阪グループ連絡会に下記役員を派遣しました。
副 会 長：中井会長 ・ 幹事：池尻事務局長
女性連絡会：尾崎幹事 ・ ボランティア連絡会：西脇副会長
- (2) 大阪退職者連合に下記役員を派遣しました。
副会長：中井会長 ・ 幹事：金高副会長 ・ 幹事：池尻事務局長
- (3) 東大阪退職者会に下記役員を派遣しました。
副会長：西脇ブロック長(8月24日東大阪退職者連合総会まで)
副会長：西浦副ブロック長(8月24日東大阪退職者連合総会以降)
幹 事：村上ブロック委員

11. ブロック活動の取り組み

ブロック委員の定数(会員50名毎に1名)は各ブロック共、目標を達成し、運営を行っています。

2018年度活動方針(案)

【重点取り組み】

1. 危機管理マニュアル(手引)作成について

- (1) NTT労働組合退職者の会中央協議会により、作成された「危機管理マニュアル」を基本に、「現・退一致」の重要な取り組みと捉え、大阪グループ連絡会と密接な関係を更に強化維持することとします。
- (2) 今年度、安否確認活動「お元気ですかコール」を実施するにあたり、幹事会等で論議し進めることとします。

2. 四ブロック合同懇親会については、大阪支部協議会発足20年の節目として記念式典を2019年2月20日にANAクラウンプラザホテル大阪で開催します。

3. 「摂河泉・クラブ」については、講座運営等に対する、マンネリ化の常態傾向に伴う改善策として、昨年同様PTを立ち上げ、取り組むこととします。

4. 組織強化のため、各ブロックが実施している「ブロック委員会」を諸々の視点から「拡大ブロック委員会」の充実を目的に、年1回5月に政治学習会と合わせて、開催に向けて幹事会等で議論を進めることとします。

【具体的取り組み】

1. 事務局の運営について

- (1) 事務局体制については、昨年を継承し、6人体制とします。
会長：1名 ・ 副会長：若干名 ・ 事務局長：1名
事務局次長：若干名
- (2) 事務局開設は、原則週5日(月～金)とし、常駐者は原則各々週4日(月～金)とし開設日には、意思疎通をはかるため朝会(朝のミーティング)を実施します。
- (3) 幹事会に向けて、原則、月1回の事務局会議を開催します。また、課題解消のため、必要の都度、拡大事務局会議等を開催し、情報共有に努めます。
- (4) 会報「摂河泉OB」の企画・紙面構成・データー収集、広報活動等の支援を求めます。

2. 会員拡大の取り組み

- (1) 大阪グループ連絡会主催の「退職予定者説明会」で加入促進への努力と協力してPRを行います。
- (2) 年度途中での退職予定者へも、大阪グループ連絡会と連携を密にし、各分会での説明会の開催を要望していきます。
- (3) 女性会員による双方向活動前進のため、女性の会を継承していきます。
- (4) 遺族会員の加入については、積極的に取り組みます。

3. 退職共済の取り組み

- (1) 共済に関する業務処理の効率化を図ると共に、加入促進月間や、会費導入時に対応するため、NTT労働組合関西総支部と連携を密にし、取り組みます。

4. コミュニケーションの充実

- (1) 会報「摂河泉OB」の発行は、奇数月の年6回(11・1・3・5・7・9月)の発行とします。また、親しみが持てる「紙面構成」に努めます。
- (2) 各ブロック、各サークルのブログの更新を支援します。

5. イベントの取り組み

- (1) 泊旅行については、隔年とし、来年度に計画します。
- (2) ウォークラリー月間行事については、継承して取り組み、ウォークラリー期間中のハイキングについては、昨年同様、実施します。
- (3) ブロック企画のイベントは、各ブロックごとの運営とし、年2回とします。具体的には「幹事会等」で論議します。
- (4) 支部協議会主催、第15回グラウンドゴルフ大会は昨年同様、支部協議会の重要な行事と位置づけ、実施することとします。

6. 文化活動の取り組み

- (1) サークル活動については、会報「摂河泉OB」にサークル活動を紹介し、参加促進のためのPRに努めます。

7. 福祉活動の取り組み

- (1) 愛のキャンパは、引き続き取り組み、会報「摂河泉OB」を活用して、さらにPRに努めます。
- (2) 愛の家、工房みさき、愛ハート須磨等からのボランティア活動要請については、大阪グループ連絡会と連携して対処します。
- (3) 物資収集は継続して行い、愛の家等へ寄贈します。
- (4) 情報労連の全国環境統一行動の要請には、「現・退一致」の観点から協力していきます。

8. 平和行動の取り組み

- (1) 情報労連の平和四行動については、昨年同様、オブ参加します。
- (2) 大阪支部協議会独自の平和行動探索隊は、昨年同様、継続して行います。

9. 政治活動の取り組み

- (1) 第25回参議院議員選挙の取り組み

NTT労働組合全国大会で、組織内予定候補者「吉川 さおり」(比例代表)の3選が決まり、退職者の会・大阪支部協議会も3選に向け、「現・退一致」で取り組みます。なお、中央協議会の指導のもと、組織内・準組織内・組織重点候補をはじめ、全ての推薦候補者の勝利に向け、取り組みます。

- (2) 統一地方選挙の取り組み

吹田市議会選挙に組織内予定候補者「にしおか 友和」当選に向けて、大阪グループ連絡会の指導のもと「現・退一致」で取り組みます。

- (3) アピール21の活動は、1月から7月に掛けて、取り組みます。

- (4) 情報労連、大阪グループ連絡会、大阪退職者連合等からの要請に協力します。

- (5) 政治学習会は、拡大ブロック委員会に含めて、政治学習会を実施するよう幹事会で論議し進めることとします。

10. 共闘活動の取り組み

- (1) NTT労働組合大阪グループ連絡会と「現・退一致」の運動を行います。
- (2) 大阪退職者連合の要請により、役員派遣、活動要請に協力します。

11. ブロック活動の取り組み

- (1) ブロック体制については、昨年同様に、ブロック長(副会長兼任)1名、副ブロック長(幹事兼任)1名、事務長(幹事兼任)1名

以上

事務所だより**災害対策特別委員会(7/6)**

災害対策特別委員会で質疑に立った。

日 時：7月6日(金) 13時50分～14時15分

議 題 害対策に関する件

(大阪府北部を震源とする地震に係る被害状況等)

※参議院インターネット審議中継でご覧いただけます。



災害対策に関する件として、6月18日に発生した「大阪北部地震」等について、政府の見解を求めた。

吉川議員はこれまでも参議院災害対策特別委員会で、都市部における地震災害時で明らかとなった課題について、政府の見解を求めて来ている。

今回の大阪北部地震における帰宅困難状況を政府として把握している人数、帰宅困難者の把握の仕方をなぜ問いただした理由は、帰宅困難者を減らすためには、不要不急の移動をどう減らすかであり、帰宅するのか、そもそも出勤する基準を定めた事業継続計画が十分に自治体はもとより各企業自体での認識が不十分と政府の姿勢を追及した。

我が家 高槻市被災者の声

山下 佳三

我が家(高槻市)では、ちょうど朝食を取っていたところに、これまでに経験がなかった、あの直下型地震でビックリと言うよりも、恐怖を感じました。

家自体に被害はなかったのですが、食器が少し破損したのと2階の本棚には倒壊防止ポールを付けていたのですが、ポールが飛ばされて床に落ちており、本棚の倒壊は免れたが、多くの本が散乱し、また、クローゼットの引き違いのスライドドア(4枚)がレールから外れて倒れており、衣類等が飛び出しており、後かたづけが大変でしたが…。

また、ベランダのエアコン室外機が大きくずれていたのにもビックリしました。

近所では、屋根にブルーシートをした家が多く見受けられますが…。

当日、昼過ぎまではガスが使えていたのですが、夕食の準備をする時にガスが使え

ないことが判り、5時前にスーパーに弁当でもと軽い気持ちで、買いに行ったのですが、ビックリしました。と言うのも、食料品(カップ麺・冷凍食品も)はもちろん、水・ガスボンベ等何もなく、食品ケース・棚類はきれいに空っぽでした。石油危機の時代を思い出しました。(若い時代でしたが)ライフラインは、ガスが使えなくて、風呂に困りましたが、4日目に使えるようになり、ようやく日常生活！？が取り戻すことが出来ましたが…。

余震で眠れぬ夜もありました。また、少しの音！？にもビクッと身構えることがあり、精神的に「トラウマ？」と言うヤツでしょうか？！？！でも、ようやく、余震も収まった？ようなので、このまま終息してくれればと祈るとともに被災者の早い復旧を思うばかりです。

沖縄ピースすてーじ

情報労連「2018 沖縄ピースすてーじ」にオブザーバーとして、参加させて頂きました。

平和行動の詳細は、NTT 労働組合新聞 6 月 30 日号と 7 月 7 日号に掲載されています。(ご参考にしてください) 6 月 23 日は、太平洋戦争沖縄戦の犠牲者を痛む「慰霊の日」です。10 数万人の軍人、一般住民が犠牲となりました。特に「逋魂の塔」は、昭和 39 年に郵政省、電電公社・全電通・全逋・逋友等の浄財と地元資金で沖縄平和祈念公園内に建設され、逋信職員 505 柱の御霊が祀ってあります。

6 月 24 日「逋魂の塔」を参拝し、大阪より持参した「退職者の会の千羽鶴」を献鶴し、ご冥福と平和の誓いをしました。地震、豪雨の天災には



私たちの力では到底、防ぐことはできません。しかし、戦争・核兵器などによる「人災は防ぐ」ことが出来ます。戦争の悲惨さを伝授し、多くの先輩たちの犠牲によって得た「平和な世界」を次世代に引き継ぐことが大事だと痛感しています。

河内ブロック 奥村 忠弘

広島ピースフォーラム 2018

広島ピースフォーラムに参加して

なにわブロック 太刀掛 敬

第 1 日目の導入学習で「NTT 労組広島原爆被害者・二世協議会」の方の被爆体験証言を初めて聞く機会を得て、生々しい当時の話を聴き、自分自身がその場にたたずむような臨場感を得ました。その気持ちを持ったまま 2 日目の行動を開始しました。

慰霊碑、記念館そして資料館を広島支部協議会の会長を筆頭に案内をして頂きました。

午前中は、周辺地域での見学。午後は平和公園内外の見学を行い、灼熱の広島を約 12km 走破しました。73 年前にあのような、酷たらしい米国の仕業から、よく復活した感慨で頭は重く、足は運動不足によりパンパンで棒となり、内臓は水分補給で久し振りの食欲不振、明日一日、不安を抱え就寝。3 日目、起床し元気復活「内心よかった」と一安心。

原爆記念日の黙祷で始まり閉会まで被爆体験記朗読会等があり、当時を思い出し発表された被爆者の胸中を考えると、少し胸が熱くなりました。

今回参加して再度感じたことは、「戦争はアカン」「原爆はもっとアカン」この気持ちを伝える



事は重要だと気付きました。今回参加した大阪支部協議会の皆さんお疲れさまでした。

広島支部協議会の皆さん、色々とお世話いただき、ありがとうございました

広島ピースフォーラム 2018 に参加して

北摂ブロック 辻 好和

73 年が経過した、今も後遺症で苦しむ被爆者の方々の現状と自らの被爆体験を交えて、退職者の会広島県支部協議会松木前会長のお話をお聞きし、その後 NTT 基町ビル内慰霊碑式典に参加、被爆した「旧広島中電話局」の慰霊碑前で広島県支部協議会内海会長から説明、そして袋町小学校跡「平和資料館」、「旧日銀広島支店」、「広島平和

記念資料館」等を炎天下の中での徒歩見学、汗をフキフキ生々しい遺品の数々を目の当たりにして、改めて原爆の恐ろしさ、悲惨さを思い知らされました。

戦争を二度と繰り返さないことを肝に命じ今後も核兵器廃絶への行動をしなければならないと思いました。

8月6日「広島市主催の式典」で子供代表の誓いの言葉で「73年前の事実を、被害者の思いを私達が学んで心に感じたことを伝える伝承者になります」と結んでいたが、私自身は、悲惨な原爆の姿でなく、明るく、楽しい夢や希望を持てる核兵器のない未来「平和」であってほしいと思います。

地球上では各地で戦争が続いているが、早く終結し、平和な世界になってほしいと願います。猛暑の中での広島県支部協議会内海会長を始めスタッフの方々の心温まるお世話に全員が感謝を申し上げます。ありがとうございました。

原爆の悲惨さをピースフォーラムで知る

河内ブロック 寺島 正明

初日は「終戦70年企画NHKスペシャル」の放映後広島県支部協議会前会長の松木さんより被爆体験証言の講話を聞くことにより73年前の出来事が生々しく悲惨な情景が伝わってきました。その後NTT基町ビルにある慰霊碑の式典に参加し、献水と献鶴（大阪支部協議会持参）を行う事が出来ました。

2日目は被爆建物（袋町小学校、旧日銀広島支店、中国軍管区司令部等）の内部見学では頑丈な建物だが全て爆風により破壊されたと聞く。また、小学校では壁に残された「伝言メモ」等を見ることで当時の恐ろしい出来事が伝わってきました。午後には平和記念公園へ、原爆資料館、広島平和都市記念碑、原爆ドーム、原爆の子の像、爆心地等多くの碑の見学と説明を受けました。特に資料館でのパネル展示等ではポイントごとの説明に悲惨さが伝わってきました。

73年前の8月6日原爆投下、一瞬にしてここ広島を焼け野原とし、14万人もの尊い命が奪われ、今なお放射能の影響に苦しめられている被爆者が居ることを知った。今後このような事が二度と繰

り返されることのないよう、核のない平和行動を続けなければならないと痛感しました。広島県支部協議会の皆さんには大変お世話になり感謝です。

広島ピースフォーラム 2018 に参加して

泉州ブロック 福井 満

今回8月4日から6日まで、広島平和行動に参加させて頂きました。

初日、ワークピア広島で、情報労連主催の被爆体験証言と特別講演を聞きました。その後、NTT基町ビルにある慰霊碑へ献水・献鶴に行きました。

次の日、NTT袋町ビル慰霊碑参拝、袋町小学校平和資料館、広島平和公園内各モニュメント、平和記念資料館等々見学をしました。

73年前、被爆当日NTT袋町ビルには、在籍者544名（うち挺身隊員32人、学徒113人）中、出勤者414人（うち交換課員350人）の殆ど全員が原爆投下により死傷した（資料より）

最終日、「映像による平和記念式典」での8時15分に黙とう、そして悲しい原爆詩の朗読・各パネル展示見学・映像による被爆者証言を聞いた後、広島から次の長崎へのピースリレーをして、全行程を終えました。

資料館等の見学では、どれも生々しくリアルな展示が多い中、私が最も心に残ったのは、袋町小学校平和資料館でした。黒く焼け焦げた壁にチョークで書かれた伝言・安否確認が当時のまま残されているのを見て、このような悲痛な出来事がこの日本で起きたことを忘れてはいけなく強く感じました。

我々人類は同じ過ちを二度と起こさないためにも、平和の尊さを力強く訴えていくことが私達の義務ではないでしょうか。

最後に広島県支部協議会の皆様に、素晴らしい経験をさせてもらったこと、心温まる沢山のおもてなしに感謝を申し上げます。

73回目の原爆の日

大阪支部協議会 掛川つねみ

8月4日、全国の仲間が広島に集まり、広島ピー

スフォーラムが開催された。

現役の組合員に交じり、大阪支部協議会の会員5名もオブ参加。導入学習の後、広島県支部協議会、元会長の被爆体験の話、その後石橋、吉川両参議院議員も駆けつけて、平和の大切さを強調され、安倍政権の進もうとしている道を危惧していることを話された。その後NTT基町ビルで慰霊式典が行われ、大阪支部協議会から持参した千羽鶴の献鶴、献水をし、式典に臨んだ。

二日目は被爆建物施設見学。まずNTT袋町ビルの慰霊碑参拝、袋町小学校、旧日銀広島支店、広島城にあった防空作戦室等、午後からは平和公園内の各モニュメント、特に平和記念資料館では、原爆投下直後の惨状を撮影した写真が展示されていて、衣服が破れて裸同然の姿の人の群れ等、原

爆の威力の凄まじさが感じられるもので、撮影されたカメラマンも、すぐにはシャッターを押せなかったとの説明文を見て、改めて原爆の怖さを知らされた。また、広島平和都市記念碑は、正面に「原爆ドーム」が納まって見えるように製作されているという説明を受け、碑面の「安らかに眠って下さい過ちは繰返しませぬから」の文字を心に刻み込んだ。

三日間の平和行動を通して、原爆の悲惨さ凄まじさ、今なお後遺症に苦しんでいる人々のことを思い、「作り育てる平和を守る」事を語り継ぐようにしたいと思う。

最後に広島県支部協議会の皆様には、大変お世話になり、ありがとうございました。

長崎平和フォーラム

長崎平和フォーラムに参加して

事務局長 池尻 貞男

昨年参加予定であったが、台風5号のため中止となり、今年、リベンジで参加できました。退職者の会からは、中央協議会、和歌山支部協議会、埼玉支部協議会、鳥取支部協議会、福岡支部協議会、その他オブ参加として福岡、熊本、宮崎、大阪支部協議会3名の参加、そして長崎支部協議会と27人。情報労連の集会は400名、連合の集会では3360名が長崎平和フォーラムに参加した。

1日目、広島から引き継がれた「長崎平和フォーラム」は8月7日に長崎市内フォーラム会場でスタートした。主催者代表あいさつ、連合長崎会長あいさつ、被爆体験談と続きました。

2日目は、遺構巡り、海魂の碑で献花（海底ケーブル敷設線基地・NTT-WEマリン）、城山国民小学校（被爆校舎記念館）、平和祈念像、赤迫トンネル工場跡を巡りフォーラム会場へ戻り、午後からの集会、構成詩28「風化に抗して」に参加（歌と構成詩の朗読および劇）。その後、連合2018平和ナガサキ集会に参加。

3日目は、原爆資料館見学、電気通信労働者原爆被爆者戦没慰霊式典に参列、11時02分の原



爆投下時間に合わせ全員で黙祷、献花を行い長崎平和フォーラムを終了した。

情報労連・第29回長崎平和フォーラムに参加して

泉州ブロック 藤田 文治

私は、昨年の長崎平和フォーラムに参加予定でしたが、台風接近により中止となり、まさに2年超しに、長崎平和フォーラム参加の希望が実現しました。その報告をします。

8月6日 午後

第29回長崎平和フォーラムに参加

原田美智子さんよりの被爆体験談を聞きました。

8月7日 午前

原爆遺構めぐり

海魂の碑 海底ケーブル敷設船の儀礼者の追悼
(NTT-WE マリン(株)長崎事務所の敷地内)
城山小学校 爆心地より西へ 480 メートル地点
被爆校舎祈念館・嘉代子桜等)
平和祈念像 平和公園内にある有名な像
赤追トンネル工場跡 三菱兵器のトンネル内
工場跡見学

午後

連合 2018 平和ナガサキ集会参加

8月9日午前

原爆資料館見学

電気通信労働者原爆被爆者戦没慰霊式典に
出席しました。

午前 11 時 02 分 黙祷で…閉会

全体の感想

被爆から 73 年に想うこと…

「核は不要」「核は絶対いらない」

「核をなくす!!」を強く感じた 3 日間でした

「第 29 回長崎平和フォーラム」に参加して 河内ブロック 岡本 博文

8 月 7 ～ 9 日、全国各地から 400 人参加の
「第 29 回長崎平和フォーラム」に参加させて頂

きました。

初日、情報労連
本部・柴田書記長
の開会の挨拶、連
合長崎・宮崎会長、
組織内・吉川さお
り参議院議員から
の熱いメッセージ
がありました。体
験談講話では、6
歳の時に被爆され
た原田美智子さん

から、原爆投下時の惨状、その後の苦悩などを話
され、核兵器廃絶を訴えられました。

2 日目の午前中、暑い中での原爆被爆遺構めぐ
り（4 カ所）をして、午後には構成詩「風化に抗
して」と連合平和長崎平和集会に参加。

最終日は、原爆資料館等見学後、電気通信労働
者原爆被爆者戦没慰霊式典に参列、原爆投下時の
11 時 2 分黙とう、献花、「原爆許すまじ」を合唱
し解散。あの日起きたことを想像し、二度と被爆
者を作らせない決意を誓い合いたと思います。



←長崎フォーラム出席の吉川さおり参議院議員

政治学習会に参加して！

7 月 13 日、14 日に大阪グループ連絡会（女
性連絡会）の一施策である政治学習会に現役 9 名、
退職者の会 3 名が参加しました。昼には国会議
事堂に到着。広大な土地に白亜の殿堂が「デン！」
と構え灼熱の太陽に照らされ一層眩しく感じまし
た。私たちは、正面から見て右側の参議院に集合
しました。



参議院での吉川さおり議員、石橋みちひろ議員と
の意見交換会では、両議員から「国会の現状と取
り組み」の話を受けて、現役参加者から特に「働
き方改革関連法案が可決・成立」で自分たちの働
き方がどう変わるのかなど不安な意見が多くでま
した。私達も、現役の人達が安心して働ける職場
と、実状に応じて働くことができる社会が、一日
でも早く実現して欲しいと願っています。

翌日の靖国神社見学では、昨年女性連絡会が、
鹿児島(知覧特別攻撃隊)平和記念館等を見学した
際、若き特攻隊員の文書に攻撃前夜、「今度会うと
きは、靖国神社で再会」を約束した記述が遺品、今
回は、知覧の思いを込め「国会と靖国神社」を政
治学習のテーマとしたと聞きました。

靖国記念館は、短時間では見られないほどの兵
器や遺品・資料などが展示されていました。しか
し、見るもの一つ一つに目頭が熱くなり、なんと
も言えない気持ちになりました。

その後、アクティブ・ミュージアムを見学。

慰安婦関係の多くの資料が展示されており、戦争や女性への暴力のない社会を築くための様々な活動が紹介されていました。悲惨な戦争を語り続けることが如何に大切と思います。

今回、若い人達と行動を共にでき、有意義な政治学習会でした。

なにわブロック 尾崎 八生（女性連絡会）



「愛のカンパ」で広がる支援の輪

今年も多くの方から「カンパ」を頂きました。3月から皆さんにご協力をお願いしていました全電通社会福祉事業団「愛の家」へのカンパについて確定しましたのでお知らせします。

多くの会員からのご協力に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

8月10日に全額を全電通社会福祉事業団「愛の家」等に寄贈いたしました。

カンパ頂いた会員 435名
総額 687,000円

2018年8月吉日
NTT労働組合退職者の会 大阪支部協議会
会長 中井 秀禮

2018年新規会員歓迎懇親会

36名が集う(女性5名)

2018年2月23日退職予定者説明会を開催後、NTT労働組合退職者の会大阪支部協議会に243名の方々入会頂きました。



毎年「歓迎懇親会」を8月お盆過ぎに開催していますが、今年は、猛暑で参加者が少ない状況でしたが、女性の参加が5名と大変に勇気を頂きました。

(年々女性退職者が減少傾向にある中でのお世話役一同：笑顔)

会員のみなさんは、地域でのお世話役、軽い仕事等、まだまだ働く意気込みは十分のようです。

又、女性は、セールス等、男性は、駐輪場係。

幹事会メンバーからは、年間行事の詳細説明や参加要請。

更には、2019年2月20日の四ブロック合同懇親会の概要と参加要請をし、締めくくりました。参加ありがとうございました。

西岡 友和

しあわせ吹田始動

皆さんと「友」に創りあげましょう

みんなで夢を育むまち

☆シ これからの吹田のため

しあわせ吹田デザインで

新しいまちづくりを始めます



◎子育て・教育デザイン

女性が積極的に活躍できる社会の実現。結婚・出産等に影響されない、女性のワークライフバランスを応援します。待機児童の解消を進め、性別などで差別されることのないジェンダーフリーなまちづくりを実現します。子育てに対する保護者の負担や不安を和らげるよう、学校 PTA 地域における子育て支援の効率化を図ります。

◎まちづくりデザイン

子どもが安心して暮らせる地域づくり、こどもの安全は地域で守ります。児童虐待を絶対に許さないよう、児童委員と行政、警察などの連携を強化します。通学路や、生活道路すべてにグリーンベルトを敷設し、危険箇所をしっかりと調査して、子どもたちを事故や災害から守ります。災害に強い、子どもにやさしいまちづくりを実現します。

◎シニアデザイン

ご高齢者をみなさんで支えあいます。公民館や市民ホール、学校、体育館等、災害時における支援体制を強化し、備蓄品など充実を図ります。

「すいすいバス」を AI を使って小型コミュニティバスとして運行エリアを拡大し、敬老バス制度と合わせて、シニア世代の活動を応援します。

元気なシニアのパワーで、吹田を もっと活性化します。

◎災害に強いまち、安心して暮らせるまち

先の大阪府北部地震、平成30年7月豪雨などの災害にあわれた方々に心からのお見舞いを申し上げます。大阪で起きた大きな災害に直面し、これからのまちづくりの最重要課題として、誰も安心して暮らせる、災害に強いまちづくりを進めます。

おめでとうございます

おめでとーございます

(七月)

《米寿》

矢口 昭代 なにわ
中野 茂 泉州

《喜寿》

福田 淳一 泉州
下平尾 忠志 北摂
山下 正夫 北摂
鎌刈 桂子 泉州
長谷 修三 北摂
蔵下 信行 河内
高橋 賛治 河内
森下 哲男 北摂
西田 聖一 河内
矢野 友義 河内
大垣 敏之 北摂
石田 誠一 泉州
足立 太司 北摂
水嶋 一雄 河内
永井 修二 泉州
城 幸正 河内
小川 卓三 河内
鶴野 美代子 北摂
平井 源太郎 河内

田中 富男 なにわ
岸本 幸夫 泉州
菊川 幹二 泉州
徳谷 利家 北摂
永塚 博 河内
猪尾 信一 北摂
橋本 彰 北摂
野間 慎二 北摂
前久保 英夫 河内
矢野 富男 泉州
竹内 伸五 河内
西塚 俊明 なにわ
喜多 正治 なにわ
嶋崎 博 河内
福多 輝男 泉州
岩崎 善幸 なにわ
福岡 新一 河内
伊達 順子 なにわ
堀内 一男 泉州
根来 一 北摂
宮本 一博 河内
榎實 道子 北摂
原田 立男 河内
井下 清美 河内
大久保 俊男 北摂
奥野 保昭 北摂
田所 寿一 北摂

(八月)

《喜寿》

西本 敬一 河内
奥山 雅雄 河内
大西 逸三 なにわ
大畑 秀樹 河内
塔本 正雄 河内
國本 広明 河内
花谷 俊樹 泉州
佐藤 雄介 泉州
松下 栄一 河内
福永 実 河内
桂 道夫 山口県
木村 昇 泉州
大西 恭康 三重県
中井 保己 河内
奥村 保幸 泉州
辻本 美智子 河内
小川 敏子 なにわ
濱口 和久 北摂
阿原 三枝子 北摂
島田 正樹 泉州
福西 俊幸 北摂
箕浦 和夫 泉州

森口 憲一 泉州
元永 恭一 なにわ
間 棟司 なにわ
河内 慎一 なにわ
大山 康志 なにわ
山本 孝子 河内
森本 悦子 河内

《古希》

河井 利夫 河内
井戸 恭子 河内
澤田 信雄 北摂
高田 英子 なにわ
長谷川 恭子 河内
田中 叶枝 北摂
中川 浩 北摂
深井 恒男 泉州
池淵 治朗 泉州
飯田 充文 河内
田村 祐治 泉州
栄田 康男 河内
上田 武 泉州
内田 耕司 北摂
長瀬 昭三 河内
内藤 武志 泉州
稲垣 訓勝 北摂
布引 久雄 泉州
西脇 光廣 河内
荻野 幸久 三重県
小山 士郎 河内
山本 忠 なにわ
広田 雅昭 なにわ
小西 儀雄 河内

奥野 史郎 泉州
栃尾 修一 北摂
高木 良知 河内
高木 栄一 河内
村重 眞二 河内
中山 善夫 河内

中谷 邦博 河内
山本 広道 なにわ
木元 孝文 泉州
阪本 章磁 河内
藤原 健司 なにわ
守安 進 なにわ
竹田 基康 なにわ
橋本 寛治 北摂
甲元 栄 北摂
鈴木 民雄 なにわ
山田 政憲 泉州
白井 一馬 なにわ
田村 好司 泉州
葭矢 忠司 河内
丸山 雅章 泉州
芦田 宗久 河内
山之内 樹 なにわ
橋本 多喜雄 なにわ
梁瀬 正子 なにわ
知念 実 沖縄県
神垣 章 なにわ
増田 耕一 河内
小野 美枝子 河内
三刀 千恵子 泉州
片岡 幸子 泉州
木ノ下 和子 なにわ
竹林 俊明 河内
植野 壽三 河内



人の動き

新しい仲間です

(敬称略)

【河内ブロック】

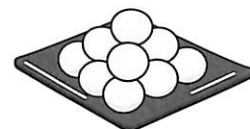
奥田 愛子
富田 公男

【泉州ブロック】

吉田 伸子

【なにわブロック】

野口 真理子



お悔やみ申し上げます。 2018年7月24日までに頂いた訃報連絡です。

なお、ご家族からの申し出により、掲載を控えてる会員もおられます。ご理解ください。

届け出の月日は、ご家族等からの申し出によりますので掲載を控えています。

杉田 智宏	2017.11.13	71歳	泉州	野口 勝幸	2018.6.15	72歳	なにわ
溝尾 有子	2018.2.14	70歳	北摂	井関 利之	2018.6.20	86歳	泉州
遠山 富雄	2018.3.	90歳	北摂	松本 元吉	2018.6.21	67歳	泉州
太田 博	2018.3.6	87歳	なにわ	徳田 弘士	2018.7.1	87歳	北摂
堀内 富子	2018.4.9	84歳	河内	香呂 トシ子	2018.7.12	83歳	河内
足立 光雄	2018.4.27	83歳	北摂	渡辺 良雄	2018.7.17	82歳	なにわ
山中 信子	2018.6.30	91歳	なにわ	田中 肇	2018.7.22	83歳	河内
樋口 渉子	2018.5.19	83歳	北摂	柴田 栄二	2018.7.23	88歳	北摂
撫養 慎	2018.6.5	85歳	北摂	小松 節子	2018.7.23	86歳	北摂
榎 利子	2018.6.7	73歳	泉州	黒川 武	2018.7.27	76歳	泉州

一般経過報告 (2018年6月23日～8月18日)

日 時	イベント等	開催場所	出席者
6月23日(土)～26日(火)	沖縄ピースすてーじ	沖縄	奥村(河内ブロック)
6月25日(月)	摂河泉・クラブ下見	柴島浄水場	市川・森上・池尻
6月28日(木)	大阪退職者連合4役会議	赤十字会館	中井
6月29日(金)	危機管理PT会議	コンポ3階会議室	中井・西浦・藤田・森上・市川・有本・金高・池尻・掛川
7月5日(木)～6日(金)	泊レク	芦原温泉	48名
7月11日(水)	北摂ブロック委員会	淀川ビル	有本
7月12日(木)	河内ブロック委員会	土佐堀ビル	池尻・掛川
7月13日(金)	泉州ブロック委員会	堺ビル	中井
7月13日(金)	なにわブロック委員会		金高
7月13日(金)～14日(土)	グル連女性連絡会 (国会議事堂社会見学)	東京	厨子・松田・尾崎
7月17日(火)	第3回摂河泉・クラブ	柴島浄水場	88名
7月18日(水)	大阪退連女性役員懇談会	赤十字会館	金高
7月23日(月)	第9回事務局会議	コンポ3階会議室	中井・有本・金高・池尻・掛川
7月24日(火)	大阪退職者連合幹事会	大成閣	中井・金高・池尻
7月27日(金)	第9回幹事会	土佐堀ビル	22名
8月1日(水)	支部独自の平和行動(学習会)	コンポ3階ホール	19名
8月4日(土)～6日(月)	広島ピースフォーラム	広島平和祈念行動他	5名
8月4日(土)～6日(月)	関西総支部第6回定期総会	奈良 100年会感	4名 特別代議員2名 傍聴2名
8月7日(火)～9日(木)	長崎平和フォーラム		3名(昨年台風欠2名)
8月17日(金)	新規会員歓迎懇談会	NTT土佐堀ビル	36名
8月18日(土)	愛ハート須磨夏祭り	愛ハート須磨他	10名

7月号について、訂正し、お詫び申し上げます。

P11 お悔やみ欄

正	誤
井田 三之	中田 三之
乾 誠三	転 誠二

P11 ありがとう 古希

正	誤
三木田 省三	三木田田省三

P11 人の動き 新しい仲間 転宅

正	誤
宮崎県へ 中濱 弘	河内ブロック 中濱 弘

我が町に歴史あり(服部天神宮)

橋本 智恵子

昔、朝鮮を経由して我が国へ渡って来た人々は、機織りの技術を伝えましたので、秦氏という姓氏を与えられた機織部として各地に住み着きました。

当地「服部」の地名もこのあたりに秦氏の住んでいたことから成り立ったものと思います。数百年が過ぎ、時には延喜元年、菅原道真らは、無実の罪を着せられ太宰府へ左遷、途中持病の脚氣に悩まされ足がむくんであるく事ができなくなり、その時、村人達は少彦名命をお祭してある天神祠に詣でて、足病を祈願おすめしました。すると不思議に間もなく菅公の足に痛みやむくみが治まり、霊の御加護により、足の痛みが癒えた菅公は、再び九州に旅立たれました。菅公が亡くなられ後も菅公を神として天神信仰が全国に広がり「服部天神宮」として、「菅公脚氣平癒の霊験」を伝え聞いた全国の参拝人と当地が能勢街道の要所であったこともあり、非常な賑わいを見せたのでした。最近では、サッカーのガンバ大阪の選手も祈願に訪れているようです。

豆知識：「服部天神宮」の所在は、豊中市服部元町。かつての能勢街道沿い、服部天神駅の飲食店や住宅が密集する地域にひっそりと鎮座する。

少彦名命(すくなびこのみこと)のご神徳により、あらゆる病気の平癒にご利益があるのだが、特に「足病の平癒」「足怪我の平癒」に効果があるとされ、プロサッカー選手からの信仰を集めているという。

北摂ブロック

警備日誌

片上 武幸

早、三ヶ月が経過した、私は今、堺市立南図書館で、館内警備(駐車場の管理を含む)の業務を遂行しています。

平日の図書館利用者は、定年退職の方と主婦の方が大半のように見受けられます。毎日、毎日同じ時間に来館され方(常連さん)会館までの散歩が、健康づくりコース。又、土日祝や夏休みの期間は、家族での来館が加わります。

家族にとっては、大切なコミュニケーションの場のようなです。図書館は、この期間中いつも大繁盛です。じじ、ばばも夏休みは、孫との楽しいコミの場所のようです。夏休みが終われば元の「ちょっと静かな図書館に帰ることを期待しています」スケジュール巡回で、駐車場での誘導時、来館者から心遣いの言葉を頂きます。「大丈夫ですか」「ご苦労さま」「暑いので気をつけて、おっちゃん」等さすが、南図書館と自負しています。

ただ、最近グランドゴルフの練習に参加出来ず、サークルメンバーからも「寂し」とのメールがありました。少しうれしいかも…。もう少し、業務に慣れると勤務変更ができることを期待しています。

平成30年9月1日 晴れ 気温35度

南図書館警備日誌より 館内：異常なし 駐車場：異常なし
以上報告。

泉州ブロック

ブロックからの発信

「グルメのなにわ」の暑気払い

市川 隆

嵐の中、無事生還した「支部協一泊レク」から一週間後、開催された第9回ブロック委員会では、◎一泊レクのあり方◎大阪北部地震時の危機管理について◎支部協総会に向けての意見提起等、活発な議論後、「暑気払い」が開かれた。場所は「お初天神・ゆめふく」「鰻と河豚」の豪華な共演。「ふぐ」と言わずに「ふく」と言うのがお店のこだわりか？暑いさなかに冷房がきいた部屋で「てっさ、鰻の湯引き」・「焼き河豚・鰻」「てっちり」「ひれ酒・河豚の骨酒」とさすが「グルメのなにわ」の暑気払いとなった。ブロック委員会終了後の再討論(再酔論)が活発なブロックそれが、明日への活動に繋がると信じる？これもブロック委員の「Mさん」のおかげです。いずれにしても、「美味しい暑気払い」でした。

なにわブロック

天災・人災

西脇 光廣

砂防ダムは、その役目を果たさず、下流に土砂タレ流し、甚大な被害をもたらした。治水ダムの管理をせず、無駄な放流が水害事故を招いた。

“脱ダム宣言”復活！ 山林放置のツケが今、蘇った。家・橋・田んぼもみな破壊され、流木は凶器と化した。想定された事故、すべて“人災”だ

そして、今年もまた平和集会でどっかの首相は、核兵器禁止条約にふれずに核保有国・非保有国の橋渡しするというが、なんで出来もしない事いう。わけわからん。決してブレなかった沖縄県翁長知事逝去、知事誕生の時“沖縄の事は沖縄”で解決と放言し、以降、互いに寄り添って【痛みは共有】まさに厚顔無恥、人災をまきちらす首相はイリマセン。沖縄県知事選に、心ある人、“沖縄はひとつ”を今こそ！

河内ブロック

編集後記

平成三〇年七月豪雨・大阪北部地震で被災された方々の復興への道のりは遠い。災害の都度、行政の対応が問われ、支援が遅い等の意見が多く聞かれる。しかし、破壊的自然災害の指導、行動は気象庁、行政はもとより、まずは、国としての行動支援である。現実には、ボランティア活動頼みで限界がある。諸外国の災害は、国として総合支援行動、自治体等との連携を行っている。

西日本豪雨災害の措置について諸外国は、評価しない要因は、「大惨事の最中に首相を始め、多くの閣僚がどんちゃん騒ぎ」「ピースサインの写真を投稿する始末」「被災地は今大変」それでも危機管理は出来ていると安倍首相は主張。連絡手段があるからと言いつつ、これが、激震災害に対処する姿勢だろうか、間違いだ。この災害も首相が先頭に立って指揮、国を上げての対応こそが本来の姿であるべき。しかし、「長期政権のたるみ」そのものだ。言い過ぎではない。

森加計問題から日大アメフト、ボクシング、早稲田オーケストラ、失言議員と経営者そのすべてが長期在任(腐敗の構図)情けない社会だ。告発しても囁く姿勢、正義はどこにあるねんと言いたい。

しかし、変えなあかんといながら「いざ投票」となると選挙と名のつく行動には、「義理・人情」の世界。なんとかせなあかんけど、どうにもならんわ、判定は、(得票数で勝たなあかん)世の中を変えるにはまず、西岡友和(吹田市議・来年四月統一)、吉川さおり(最重要組織内(来年七月参議院議員比例区)地道に勝利することである。